

報道関係者各位

2018年7月5日

全国50カ所の建築現場にAEDを設置、近隣住民も対象に講習会を開催 約18,000社の大東建託協力会との共同による救命体制の整備と地域貢献

大東建託株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:熊切直美)は、6月28日(木)より順次、全国50カ所の建築現場へAEDを設置し、どなたでも参加可能な「AED講習会」を開催します。

本取り組みは大東建託協力会※1と共同で実施するもので、建築現場の救命体制の整備、および地域社会への貢献を目的に、緊急時には近隣への貸し出しも行います。6月28日(木)には、江東区の建築現場にAEDを設置し、近隣にお住まいの皆さまと現場作業員あわせて計22名にご参加いただきAED講習会を開催しました。今後9月までの期間、全国で同様の「AED講習会」を開催していきます。

なお、AED設置情報は、一般財団法人日本救急医療財団が管理する「財団全国AEDマップ」に順次登録予定です。

※1 大東建託協力会は、当社賃貸建物の建築を支えていただいている約18,000社の設計・施工協力会社様で組織されています。

■建築現場で誰でも参加できる「AED講習会」を開催

全国で順次AEDを設置する建築現場では、設置に合わせ、AED講習会を開催します。

この講習会は、現場の作業員だけでなくどなたでも参加可能となっており、AEDの基本的な使い方はもちろん、シナリオをもとに、参加者が連携してAEDを使用した心肺蘇生を体験できるものとなっています。

【6月28日(木)江東区で開催した「AED講習会」の様子】



AEDメーカーの講師よりAEDの使い方を学ぶ

【AED講習会概要】

講習内容	理解する内容	所要時間
AEDの取扱い方法について	AEDの起動方法と電極パッドの装着方法を知る。	5分
AEDの適用条件について	使用すべき傷病者の状態を理解する。	5分
AEDの使用上の注意点	ペースメーカー装着者の対応など、特殊な状況を理解する。	10分
心肺蘇生+AED実習	シナリオをもとに、AEDを使用した心肺蘇生実習を行う。	30分
合計		50分



AEDの電極パッドを装着し、電気ショックボタンを押すまでの一連の流れを実習



シナリオをもとに3人で連携し、AEDを使用した心肺蘇生を体験

■建設業従事者の高齢化への対応と近隣の救命活動に貢献するために

建設業の従事者は、屋外での過酷な作業が多いことや、他の業種に比べ高齢化※2が進行していることなどから、従事者の心疾患発症リスクが高まると見込まれています※3。

当社ではこのような状況を鑑み、建築現場の救命体制を整備するとともに、地域社会の緊急時救命活動にも貢献することを目的として、建築現場へのAED導入を決定しました。

※2 平成29年度「労働力調査」(総務省)より、建設業従事者の55歳以上の割合は約34.14%と他業種の29.72%より高くなっている。(右図参照)

※3 平成26年「患者調査」(厚生労働省)より、心疾患・心不全の患者数は55歳以上から大幅に増えている。

【建設業従事者の年齢構成推移】



資料出所:平成29年度「労働力調査」(総務省)

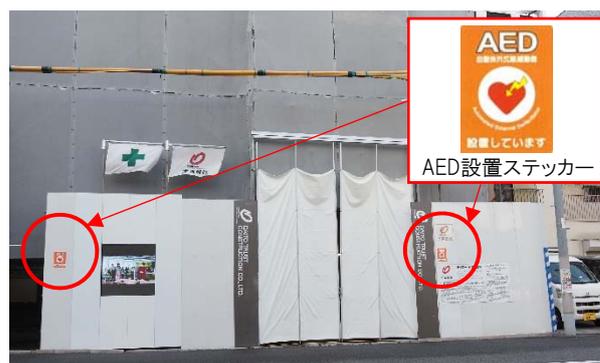
■大東建託、大東建託パートナーズ、大東建託リーシングの事業所は設置率100%

2018年3月に大東建託株式会社(全233※4支店)、大東建託パートナーズ株式会社(全181※4営業所※5)、大東建託リーシング株式会社(全234※4店舗)の全拠点(全648カ所)へのAEDの導入が完了しています。

今後は、社員全員が迅速な救命活動ができるよう、「AED講習会」を定期的を開催していく予定です。

※4 2018年7月4日現在、7月以降開設する事業所に関しては、順次導入を予定。

※5 サポートセンター2事業所含む。



建築現場の仮囲いにAED設置ステッカーを添付し、近隣に周知

< 本件に関するお問い合わせ >

大東建託株式会社 広報部 広報CSR課 TEL:03-6718-9174